

学校だより
はす ぬま ちゅう かがみ

蓮沼中鏡

平成27年度 第10号
平成27年10月15日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

開校当時を振り返る

【同窓会誌「夢あり我ら学びて共に」から】

○ 昭和31年(1956年) 4月 7日(土) 開校式

大昔は、多摩川がこのあたりを流れ、流動は徐々に変わり沼の多い土地として残り、蓮などが多く浮かんでいたため、蓮沼という地名がついたといわれています。

昭和30年、徳持町・蓮沼町・女塚町などと地名が記されていた頃、大森第四中学校と御園中学校は生徒を収容することができなくなり、旧蓮沼1丁目4番地(現西蒲田2丁目3番地1号)の敷地に旧府立第八高等女学校(現在の東京都立八潮高等学校)農園跡を新校舎として中学校が建設される計画が、区議会で決定しました。

当時の大森第四中学校に通学している徳持地区と、御園中学校に通学している女塚1、2丁目、蓮沼1、2丁目の2、3年生と、新1年生として地域小学校より新卒業生の計908名及び促進学級32名の生徒が、昭和31年4月6日(金)に入学して、本校の歴史がスタートしました。

開校式当日は、塀もないことから見物人も大勢いたそうです。



○ 昭和31年(1956年) 5月 5日(土) 校章制定

生徒や保護者にも呼びかけ、校章の図案を募集したところ、本校保護者で当時大田区長秘書であった横山氏の作品が採用されました。

校名の蓮沼をカタカナで表し、ハスヌマの文字を組み合わせ、図案化したものに中学の中を加えて全体を調和した校章が制定されたのです。

○ 昭和31年(1956年) 9月15日(土) 校歌制定



○ 昭和31年(1956年) 10月14日(日) 第1回運動会



開催前日からの雨で、未整地だった校庭は水浸しとなり、常識ではとても実施は無理でしたが、開催当日の朝、誰に言われたわけでもなく、教職員・生徒が身の回りにあるバケツにチリトリやホウキを持ち出し、体育着などを泥だらけにしなが、泥水を当時東端にあったドンブー池に押し流しました。この作業の結果、予定から1時間遅れで第1回運動会を開催することができました。徒競走では、足をとられ、泥沼の中へ滑り込む生徒が続出でしたが、景品ほしさに頑張りました。



○ 昭和31年(1956年)11月17日(土) 第1回学芸会

当時は体育館がなかったため、会場として大田区民会館(現在の池上会館)で行われました。生徒は会館集合、クラスごとに着席でした。ところが多くの子が落ち着かず、先生から注意されてばかりでした。進行係の子は、27もあるプログラムを汗だくでこなしたそうです。先生独唱の曲のときは、場内がシーンと静まり、また、劇中での食事の場面では、ため息やつばを飲み込んだりという、楽しさと悲しさと美しさがありなした7時間の第1回学芸会でした。

○ 昭和32年(1957年)3月20日(水) 第1回卒業式

大森四中・御園中から分かれて入学してきた121名の生徒たちの第1回卒業式が、校舎内2階の講堂にて行われました。

開校当初、草だらけの凸凹の校庭での入学式から、蓮沼中の校風を創り上げ、各委員会や部活動のリーダーとして活躍した3年生が卒業という日を迎えたのです。



○ 昭和32年(1957年)9月24日(火) 開校記念日

第一校舎落成式を行った日を開校記念日に決めました。

○ 昭和32年(1957年)11月13日(水) 校旗の誕生

校庭に中央委員長の生徒が9月24日の開校1周年を記念して、生徒みんなの力で作り上げた校旗を持って入場しました。校章・校歌・校旗の3つがそろったことを当時の在校生は、誇りに思ったということです。

【ドンブー池】

現在テニスコートと体育館がある場所に大きな池、通称「ドンブー池」がありました。

当時は、草花にバッタ、蝶などの自然が残っていました。ドンブー池は、一番深いところで14m位、池には小魚がいて、近所の人たちは釣りを楽しんでいたそうです。もともと近所の人たちが、ボーフラ発生を防ぐために鯉や鮒を放したと言われていています。時々、子どもが池に落ちて大騒ぎとなることもありました。また、隣の大森高校のラグビー部やサッカー部の生徒が練習で汗とホコリにまみれた体を洗おうと、練習が終わると池に飛び込んで泳ぐ光景もありました。



ドンブー池と言われるようになったのには、次のような説もあります。本校の敷地全体を掘って、校庭にするためにその土を盛り整地をしました。

その土を掘った跡がプール状となり、近所の子どもたちから、土木作業員、当時の呼び名の土方が掘って作ったプールという意味で、初めは土方プール、後にドンブー池と言われるようになったのです。

この池は、体育館を新築するために埋め立てられました。